

航空自衛隊仕様書				
仕様書の種類	内容による分類		装備品等仕様書	
	性質による分類		個別仕様書	
物品番号			仕様書番号	
品名 又は 件名	警衛業務用防寒服		4補LPS-D84172-5	
			作成	平成25年 8月 2日
			改正	平成30年 1月25日
				令和 5年 3月29日
作成部隊等名	第4補給処			

## 1 総則

### 1.1 適用範囲

この仕様書は、警衛業務非常勤隊員が着用する警衛業務用防寒服の調達について規定する。

### 1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる主な用語及び定義は、引用文書等による。

### 1.3 種類

種類は、表1によるほか、調達する種類及び数量は、調達要領指定書に示す。

### 1.4 構成

“警衛業務用防寒服，上衣”の構成は、本体及びライナーとする。

### 1.5 製品の呼び方

製品の呼び方は、表1の区分及び種類による。

例 警衛業務用防寒服，上衣，1号

警衛業務用防寒服，ズボン，2号

### 1.6 引用文書等

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、次の文書に定める内容が、この仕様書に定める内容と相違する場合は、法令等を除き、この仕様書に定める内容が優先する。

#### 1.6.1 引用文書

##### a) 規格

JIS L 0842 紫外線かぼたマーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0844 洗濯に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0849 摩擦に対する染色堅ろう度試験方法

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

- JIS L 1030-1 繊維製品の混用率試験方法—第1部：繊維鑑別
- JIS L 1030-2 繊維製品の混用率試験方法—第2部：繊維混用率
- JIS L 1092 繊維製品の防水性試験方法
- JIS L 1094 織物及び編物の耐電性試験方法
- JIS L 1096 織物及び編物の生地試験方法
- JIS L 2511 ポリエステル縫糸
- JIS S 3015 スライドファスナ
- JIS Z 8721 色の表示方法—三属性による表示
- NDS Z 0001 包装の総則
- NDS Z 8011 角形銘板

b) 法令等

中央調達に係る直接監督方式及び直接完成検査方式の標準実施要領について（通知）（装管企第297号平成27年10月1日）

1.6.2 関連文書

NDS L 0101 縫製用語

NDS L 0102 縫製要領

2 製品に関する要求

2.1 材料

材料は、表2による。

2.2 加工

2.2.1 裁断

裁断は、次による。

- a) 雨ぶたは、身ごろに布目を合わせるほか、斜め裁ちは行わない。
- b) はぎ裁ちは、行わない。

2.2.2 縫製要領

2.2.2.1 一般縫製

一般縫製は、次による。

- a) 各部の縫い代は、原則として1 cm以上とする。
- b) 針数は、2.5 cm間の表面に現れた縫い目とし、地縫い及び飾り縫いは10針以上、オーバーロック縫いは、8針以上とする。
- c) 縫い始め及び縫い終わりは、返し縫いを完全に行う。
- d) 縫い飛び及び縫い外れがなく、糸調子が優良で縫い目曲がりが目立ってはならない。
- e) 飾り縫いは、端から0.5 cmとする。

品 名	警衛業務用防寒服
-----	----------

### 2.2.2.2 縫製細部要領

縫製細部要領は、表5～表7，図1及び図2による。

## 2.3 形状・寸法・外観

### 2.3.1 形状

形状は、図1及び図2によるほか、次による。

#### 2.3.1.1 本体

- a) ハーフコートタイプ，開襟及びステン襟兼用ダブル形とする。
- b) 本体裏は，キルティングの総裏とする。
- c) 前面は，スライドファスナ及びドットボタンによる開閉式とする。
- d) 本体内側に，スライドファスナにてライナーを取り付けられる。
- e) 襟部に，襟ボアを取り付けられる。
- f) 脇部に，開閉用のダブルスライダー付きスライドファスナを取り付ける。

#### 2.3.1.2 ライナー

ライナーは，保温材を裏地ではさみ，キルト掛けする。

#### 2.3.1.3 ズボン

- a) 前立て及び脇裾は，スライドファスナによる開閉式とする。
- b) ズボン裏は，キルティングの総裏とする。

### 2.3.2 寸法

寸法は，表5～表10及び図2による。

### 2.3.3 外観

縫製が優良で，傷，汚れ及びその他の欠点が目立ってはならない。

## 2.4 製品の表示

### 2.4.1 銘板

銘板は，図3に示す様式の銘板を，図1及び図2に示す位置に縫い付ける。

## 3 監督・検査

監督及び検査は，分任支出負担行為担当官（以下，“分支担当”という。）の定める監督及び検査実施要領に基づき実施する。

## 4 出荷条件

### 4.1 包装

包装は，商慣習とする。

### 4.2 外装の表示

外装の表示は，NDS Z 0001の表示・標識による。ただし，次の事項を見やすい箇所に表示する。

品 名	警衛業務用防寒服
-----	----------

- a) 調達要求番号
- b) 物品番号
- c) 品名（製品の呼び方）
- d) 数量
- e) 納入年度  
例 2014年度
- f) 製造者名（若しくはその略号）又は納入者名（若しくはその略号）

## 5 その他の指示

### 5.1 承認用見本

契約の相手方は、製作に先立ち、承認用見本として製品1着を分支担当官に提出し、外観及び形状について承認を得なければならない。ただし、分支担当官から、承認を得た実績がある契約の相手方は、仕様の変更がない場合、本提出を省略することが可能である。

### 5.2 その他必要な事項

その他必要な事項は、次による。

- a) 製造（織布、染色、縫製、その他の特殊加工及び再生ポリエステル混紡）は、日本国内において行う。
- b) 仕様書等に基づいて（契約の相手方が作成した図面等を含む。）製造した主材料及び製品が、第三者（契約の相手方の下請者等を除く。）に入手され又は複製されることのないよう管理者は最善の注意をもって管理・保管する。
- c) 契約の相手方は、b) の管理・保管に関する管理規定を作成のうえ、速やかに分支担当官を経由し要求元の確認を受ける。ただし、当該規定が既に確認済みである場合は、この限りではない。また、これを変更又は改正した場合も、速やかに分支担当官を経由し、要求元の確認を受ける。
- d) 契約の相手方は、下請負者がある場合は、下請負者との間でc) に定める事項に準じて取り決めを行うとともに、取り決めた文書についてc) の要領で確認を受ける。
- e) 契約の相手方は、仕様書、製造した主材料及び製品等が第三者に流出する等の事故が発生し、それらの疑い又はおそれがある場合は、適切な措置をとるとともに速やかに分支担当官を経由し、要求元に報告する。

### 5.3 仕様書の疑義

契約の相手方は、仕様書の内容について疑義が生じた場合は、分支担当官を通じて要求元と協議する。

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表1-種類

区分	種類	物品番号
警衛業務用防寒服, 上衣	特号	8415-427-8826-5
	1号	8415-427-8827-5
	2号	8415-427-8828-5
	3号	8415-427-8829-5
	4号	8415-427-8830-5
	SS	8415-427-8831-5
警衛業務用防寒服, ズボン	特号	8415-427-8832-5
	1号	8415-427-8833-5
	2号	8415-427-8834-5
	3号	8415-427-8835-5
	4号	8415-427-8836-5
	SS	8415-427-8837-5
注記 SS は, 特別サイズを示す。		

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表2-材料

項目	規定		用途
表生地	表3による。		本体, ズボン
裏生地	表4による。		本体裏, ズボン裏, ライナー
袋地 %	ポリエステル 65 ±5	レーヨン 35	本体腰ポケット, ズボンポケット
芯地	不織布芯		襟, 雨ぶた, 玉縁
ボア mm	アクリルパイル, パイル長10以上 色: 黒		襟ボア
ジャージ	ナイロン 色: 黒		中袖口
保温材 g/m <sup>2</sup>	ポリ エ ステ ル 100 %	質量60以上	裏地
		質量120以上	ライナー
		質量90以上	ズボン
スライドフ ァスナ cm	JIS S 3015 L級 ポリアセタール製	表8 の 本体による。	本体前開閉用
	JIS S 3015 L級 ポリエステル製	表10 の ライナーによ る。	ライナー取付用
		長さ20	ズボン前立用
	JIS S 3015 M級 ポリエステル製	長さ47	本体脇開閉用

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表2-材料(続き)

項目	規定		用途
スライドフ アスナ cm	JIS S 3015 L級 ポリエステル製	長さ34	ズボン裾脇開閉用
ドットボタ ン mm	黄銅製, 頭部銀色つや消し	頭部直径20	本体前立て
		頭部直径15	ズボン前合わせ
樹脂ボタン mm	尿素樹脂製, 直径15		襟ボア取付
ゴム mm	上タックゴム, 黒, 幅25		ライナー胴絞り
	上タックゴム, 白, 幅30		ズボン腰帯
	コールゴム, 黒, 幅4		襟ボア取付
バイアステ ープ	ナイロン100 %		縁巻き用
銘板	綿#40ブロード, 白色, 裏面樹脂加工		製品表示用, 氏名用
縫い糸	JIS L 2511 ポリエステル糸	#50	本縫い
		#80	ロック縫い

品 名	警衛業務用防寒服
-----	----------

表3—表生地

項 目		規 定		
混用率 %		静電防止ナイロン100 <sup>a)</sup>	JIS L 1030-1 及び JIS L 1030-2 による。	
織度 dtex	たて	78	JIS L 1096 のA法による。	
	よこ			
組 織		3/1あや織		
幅 cm		92 以上		
質量 g/m <sup>2</sup>		105以上		
密度 本/2.54 cm	たて	245以上 <sup>b)</sup>		
	よこ	115以上		
寸法変化率 %	たて	±2.0以内		JIS L 1096 のD法による。
	よこ			
引張強さ N	たて	1 568以上		JIS L 1096 のA法(ストリップ法)による。
	よこ	735以上		
防水度	耐水度 cm	80以上	JIS L 1092 のA法による。	
	撥水度	90以上	JIS L 1092 による。	



品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表3—表生地（続き）

項目		規定	
色		黒	標準色相は、色相 (H) : - , 明度 (V) : 1.7, 彩度 (C) 0.5とする。JIS Z 8721 による。
染色堅ろう度級	洗濯	4以上	JIS L 0844 のA-1号による。
	変退色		JIS L 0849 の摩擦試験機 II 形の乾燥試験による。
	汚染		
摩擦			JIS L 0842 による。
耐光			JIS L 0842 による。
摩擦帯電圧 V		洗濯前 1 000以下 20回洗濯後 1 500以下	JIS L 1094 のB法による。
注 <sup>a)</sup> , 注 <sup>b)</sup> 縦糸に導電性繊維を含むほか、織込み間隔は均等とする。			

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表4-裏生地

項目		規定		
混用率 %		静電防止ナイロン100 <sup>a)</sup>	JIS L 1030-1 及び JIS L 1030-2 による。	
織度 dtex	たて	78	JIS L 1096 のA法による。	
	よこ			
組織		平織		
幅 cm		117 以上		
質量 g/m <sup>2</sup>		63以上		
密度 本/2.54 cm	たて	115以上 <sup>b)</sup>		
	よこ	85以上		
寸法変化率 %	たて	±2.0以内		JIS L 1096 のD法による。
	よこ			
引張強さ N	たて	637以上		JIS L 1096 のA法(ストリップ法)による。
	よこ	539以上		
色		濃グレー	—	

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表4-裏生地（続き）

項目		規定		
染色堅ろう度級	洗濯	変退色	4以上	JIS L 0844 のA-1号による。
		汚染		
	摩擦	JIS L 0849 の摩擦試験機Ⅱ形の乾燥試験による。		
	耐光		JIS L 0842 による。	
摩擦帯電圧 V		洗濯前 1 500以下 20回洗濯後 2 000以下	JIS L 1094 のB法による。	
注 <sup>a)</sup> 、注 <sup>b)</sup> 生地縦方向に導電性繊維を含むほか、織込み間隔は均等とする。				

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表5-縫製細部要領（本体）

項目	縫製細部要領
前身ごろ及び見返し	七分丈とし、ダブル前6つボタン、ボタン間隔は表8 のとおりとする。返り襟丈は表8 のとおり、幅は10 cmとし、前端は地縫い返し飾り縫いとする。前開閉用スライドファスナは第一ボタンより第三ボタンの位置までとし、上前は見返し奥に裏地と挟み縫い、下前は下前端と見返しに挟み縫いする。見返し幅は第一ボタン位置で17 cm、裾部で16 cm とする。また、ライナー取付用スライドファスナを見返しと裏地の間に挟み込み縫いする。
襟及び襟付け	上襟は地縫い返し飾り縫いとし、上襟の襟幅は中央で6.5 cm、襟先で8 cm、襟腰は中央で4 cmとし、表と裏の襟腰はそれぞれ別に上襟及び襟裏と地縫い片倒し端縫いとする。襟付けは、身ごろと裏地を挟み縫いする。襟付け中央部に幅1 cm（許容差±0.5 cm）、長さ6 cmの襟吊りを縫い付ける。襟付け内側部に襟ボア取付用樹脂ボタン5個と、襟ボアの穴かがりに対応する位置に樹脂ボタンを3箇所取付ける。
襟ボア	表地を上部を袋状にし、折り返し縫い止める。表地にボアを合わせて地縫いした上、下辺に固定用ゴム（ボタン掛け用）5本を輪にして挟み縫いし、更に下辺で返し、とじ縫いする。上部袋布下辺に3箇所穴かがりをする。
腰ポケット	雨ぶた付き片玉縁切りポケットとし、雨ぶたは幅18 cm、丈7.5 cm、周囲は地縫い返し飾り縫いとする。口幅2 cm（許容差±0.5 cm）の片玉縁とし、口両端は本縫いミシンかんぬきとする。袋地は地縫い片倒しする。向当て布側は表地を袋地とし、袋の周囲は二条縫いする。
脇縫い	両脇の下部に脇縫いを利用し、脇開閉用スライドファスナを縫い付ける。ファスナ付けは、表地と裏地に挟み込み縫い、ファスナ長さは47 cmとする。片玉幅は1 cm（許容差±0.5 cm）の突き合わせ、脇縫いの表地は地縫い返し飾り縫いとする。
背縫い	表地は地縫い片倒し飾り縫いとする。（センターベンツ上部まで）裏地は地縫い片倒しとする。
袖	袖は二枚袖とし、内袖縫いは地縫い片倒しする。外袖は地縫い片倒し飾り縫いとする（外袖高）。裏地は一枚袖とし、地縫い片倒しとする。袖口は身ごろを内側に折り裏地を挟み、幅2 cm（許容差±0.5 cm）の三つ折り縫いをする。袖口をより17 cm奥に裏地をダブルにした中袖を縫い付ける。中袖口には長さ6 cmのジャージを中袖に挟み込み縫いする。ジャージは袖口より2 cm（許容差±0.5 cm）控える。

品 名	警衛業務用防寒服
-----	----------

表5—縫製細部要領（本体）（続き）

項 目	縫製細部要領
袖付け及び肩縫い	表地は地縫い片倒し飾り縫いをし、裏地は地縫い片倒しとする。
裾口	幅3 cm（許容差±0.5 cm）の三つ折り縫いとし、裏地は裾三つ折り縫いに十分挟み込む。
センターベ ンツ	センターベントツ丈は表8 のとおりとし、内合わせ幅は6 cm、上前ベントツ端は背縫いと通して飾り縫いする。上前の折り返し幅は6 cmとし、奥は裏地と地縫い片倒し端縫いとする。下前は裏地と地縫い返し飾り縫いとする。
<b>注記</b> 許容差の示されていないものは許容差±1 cmとする。	

表6—縫製細部要領（ライナー）

項 目	縫製細部要領
脇縫い、肩縫い及び周囲縫い	地縫いロック掛けとし、幅6 mmの飾りミシンかけとする。他の裁ち目は、上がり幅10 mmのバイアステープ巻とする。
身ごろ	脱着用ファスナを身ごろ周囲端より8 mm控えた位置に取付ける。
裾	裾部には幅2.5 cmのゴムを二条で縫着する。
<b>注記</b> 許容差の示されていないものは、許容差±0.5 cmとする。	

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表7-縫製細部要領 (ズボン)

項目	縫製細部要領
腰帯	腰帯は幅4.5 cmとし、前合わせ部は長さ4.5 cmの持ち出しとし、ドットボタン2組を打つ。後部腰帯部はゴムを通す。腰帯前面は芯を入れ飾り縫いとする。
前立て	スライドファスナ開閉式とし、飾りミシン幅は4 cm、前立て奥は裏地を挟み二つ折り縫いする。ファスナ付けは二条縫いで縫着する。
ポケット	腰脇部に口幅16 cm (許容差±1.0 cm) の切り込みポケットを設ける。
内股縫い	表地、裏地共に地縫い片倒しとする。
尻縫い	表地は地縫い片倒し飾り縫いし、裏地は地縫い片倒しとする。
小股	表地、裏地とも地縫い片倒しとする。小股に本縫いミシンかんぬきを入れる。
裾口	裾口は幅3 cmの三つ折り縫いとし、裏地は裾縫いに十分に挟み込む。
脇縫い	両脇下部に開閉用スライドファスナを縫い付ける。
<b>注記</b> 許容差の示されていないものは、許容差±0.5 cmとする。	

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表8一寸法（本体）

単位：cm

種類	項目							
	着丈	胸囲	肩幅	袖丈	裾回り	袖口	ボタン 間隔	センタ ーベン ツ丈
特号	97	139	53	66	149	18.5	15	29
1号	94	136	51	64	146	18.5	14.5	28
2号	91	133	49	63	143	18	14	28
3号	88	130	48	61	140	17	13.5	27
4号	85	127	47	59	137	16	13.5	26
SS	—	—	—	—	—	—	—	—
許容差	+2 -1	+3 -1	±1	±1	+3 -1	±0.5	±0.5	±1
注記 SSの寸法は、調達要領指定書に示す。								

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表8-寸法（本体）（続き）

単位：cm

種類	項目		
	襟ボア丈	前開閉用スライドファスナ	返り襟丈
特号	48	32	24.5
1号	48	32	23.5
2号	47	30	23.0
3号	45	30	22.5
4号	45	30	22.0
SS	—	—	—
許容差	±1	±1	±0.5
注記 SSの寸法は、調達要領指定書に示す。			



品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表9一寸法（ズボン）

単位：cm

種類	項目				
	ズボン丈	股下	腰回り	渡り幅	裾口幅
特号	115	83	99	41	25.5
1号	112	81	96	41	25.0
2号	110	79	93	39	25.0
3号	106	76	90	38	24.5
4号	101	73	87	37	24.5
SS	—	—	—	—	—
許容差	±2	±1	+2 -1	±1	±0.5

**注記** SSの寸法は、調達要領指定書に示す。

表10一寸法（ライナー）

単位：cm

種類	項目		
	丈	胸 囲	スライドファスナ丈
特号	64	131	157
1号	62	128	148
2号	60	125	148
3号	58	122	139
4号	56	119	139
SS	—	—	—
許容差	±2	±2.5	±1

**注記** SSの寸法は、調達要領指定書に示す。

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

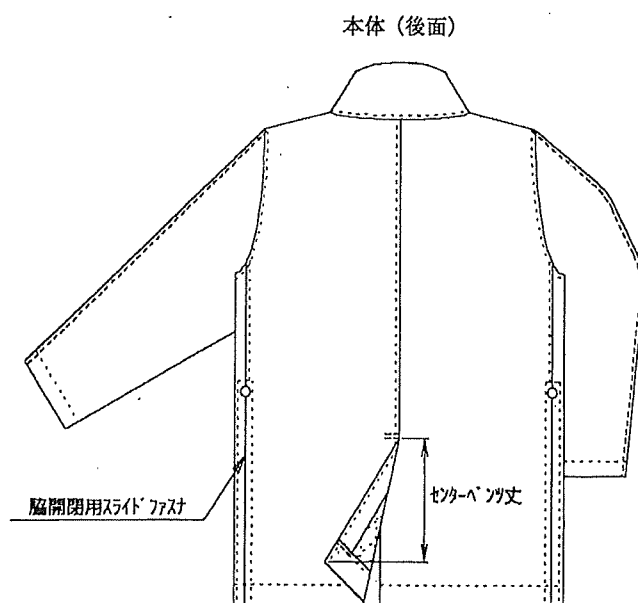
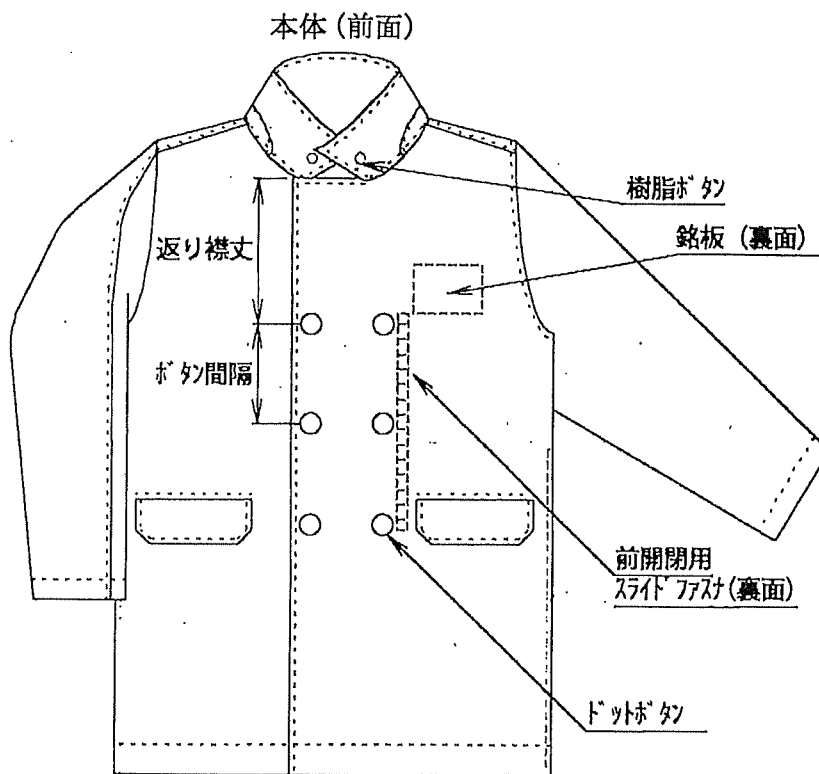


図1—形状

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

単位: cm

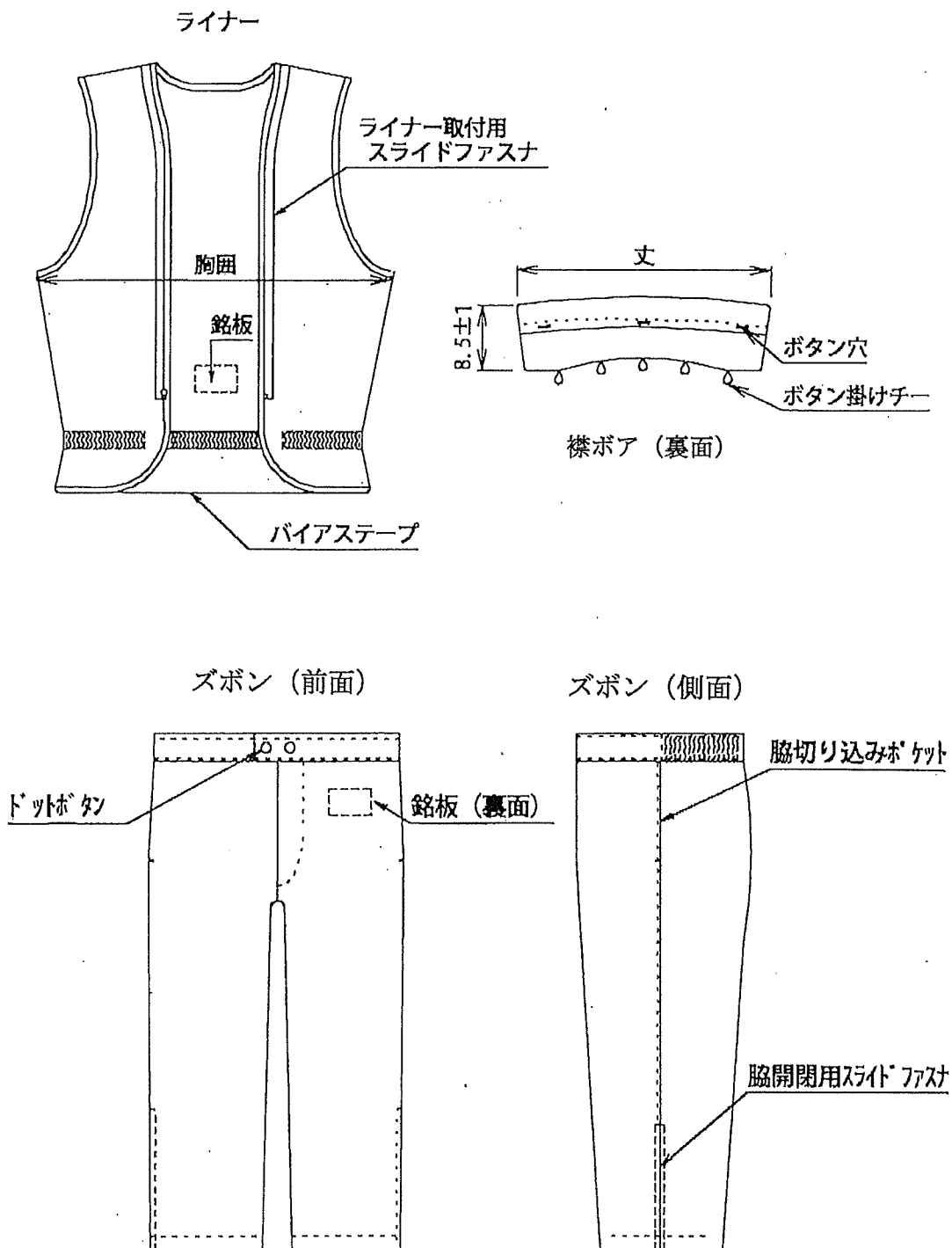


図2-形状・寸法

品 名	警衛業務用防寒服
-----	----------

単位：cm

航 空 自 衛 隊		
物品番号	a)	
品 名	b)	
納入年度	c)	
契 約 者	d)	
縫製業者	e)	
← 3 →	8	

**注記1** 銘板の枠及び記載事項は、黒色でにじみ及び退色しにくいものを用いて、鮮明に押印又は印刷する。

**注記2** 銘板の用字及び書体は、NDS Z 8011 による。

**注記3** 寸法許容差は±0.5 cmとする。

注<sup>a)</sup> 該当する物品番号を記入する。

注<sup>b)</sup> 該当する品名（製品の呼び方）を記入する。

注<sup>c)</sup> 納入年度を記入する。（例：2013年度）

注<sup>d)</sup> 契約の相手方の名称又はその略号を記入する。

注<sup>e)</sup> 縫製業者を記入する。

図3—銘板（製品表示用）